

令和3年度 標準的学力調査の結果

学校支援課

令和4年1月に実施した標準的学力調査（東京書籍版CRT）の結果をお知らせします。

1 各教科の平均正答率（％）について

【中学校2年生・理科】※標準スコア…全国の平均正答率を50としたときの換算値

年度	新潟市	全国	全国との差	標準スコア
令和3年度	61.2	60.6	+0.6	50.3
令和2年度	58.9	58.1	+0.8	50.4
令和元年度	54.2	56.3	-2.1	49.0

【中学校2年生・英語】※標準スコア…全国の平均正答率を50としたときの換算値

年度	新潟市	全国	全国との差	標準スコア
令和3年度	48.2	46.9	+1.3	50.6
令和2年度	56.8	54.3	+2.5	51.1
令和元年度	57.2	55.4	+1.8	50.8

2 中学校2年生・理科の概要について

【領域別等の平均正答率】

標準スコアは、50.3（昨年度50.4）と全国平均と比べてやや上回った。

基礎問題の正答率は、全国平均を-0.3（昨年度-0.6）下回っていたが、活用問題の正答率は、全国平均を+4.5（昨年度+5.5）上回っていた。

領域別に正答率を全国平均と比較すると、エネルギー領域は+0.7（昨年度+2.4）、粒子領域は+2.2（昨年度-0.8）と少し上回った。また、生命領域は-0.7（昨年度+2.0）と少し下回っていた。なお、地球領域は、まだ未履修のため調査対象より除外してある。

今回の調査から、前回と同様に、用語などの基礎事項を理解することや、観察・実験方法の意図や結果を分析し解釈したことを表現することをやや苦手としている。

【内容ごとの状況】

＜○…全国平均を上回った主な問題 ●…全国平均を下回った主な問題＞

- 原子の性質について理解している。
- 化学カイロは熱を周囲に出しながら起こり、この反応を「発熱反応」ということを理解している。
- 酸化銀の還元の実験で、ガスバーナーの火を消してからピンチコックでゴム管を閉じた理由について理解している。
- 感覚器官について理解している。
- 葉の裏側の方が表側より気孔が多いことを理解している。
- 酸素が発生したのは水素のはたらきであることを調べるための追加の実験を構想できる。
- 脈拍が多くなると心臓のはたらきが活発になっていることを分析できる。
- 肺炎になると息苦しくなる理由を分析し、記述できる。
- グラフから、抵抗の大きさを指摘できる。
- 電気回路の組み方を変えた時に流れる電流の大きさを指摘できる。

【今後の対応について】

- ◎ 基礎的な知識の習得は、観察・実験などの実体験と関連付けて学習したり、ICT端末を用いてイメージしやすくしたりするなど、概念的な理解ができるようにする。
- ◎ 実生活の事象から課題を見だし、科学的に探究（見通しをもって課題や仮説を設定し、観察・実験などを行い、根拠に基づく結論を導き出す）する過程を大切に授業を心掛ける。
また、既習内容や観察・実験から得られた事実などの情報を整理し、まとめることで自分の考えを形成し、ICT端末を用いてアウトプットするなど、表現する場を設定する。アウトプットが発表だけにとどまらずに、議論したり、自分の考えを修正したり、深めたりできるように努める。
- ◎ 実生活の事象から課題を見いだしたり、解決した自然事象のしくみが実生活でどのように利用されているのかの理解を深める学習を行ったりする。
また、単元や内容のまとまりの終末で、学習過程（学習内容や学習方法）の振り返りを行うことで、自己の成長や学ぶ喜びを自覚させ、次への学びに向かう意欲を高められるようにする。

3 中学校2年生・英語の概要について

【領域別等の平均正答率】

新潟市全体の状況は、基礎・活用ともに全国平均を上回った。種別にみると「基礎」

が全国平均より0.7ポイント（昨年度+1.9ポイント）、「活用」が2.5ポイント（昨年度+3.6ポイント）上回った。しかし、昨年度と比較すると伸び幅は少なくなっている。

領域別では、「聞くこと」の領域で全国平均より0.3ポイント（昨年度+4.3）下回った。「読むこと」の領域で2.2ポイント（昨年度+0.4）「書くこと」の領域で1.6ポイント（昨年度+1.4ポイント）上回った。

長年課題であった「聞くこと」について、昨年度は向上したが、今年度は全国平均を下回る状況に戻った。

観点別では、3つの観点全てで、全国平均を上回った。観点別にみると、「知識・技能」が全国平均より0.3%ポイント、「思考・判断・表現」が2.6ポイント、「主体的に学習に取り組む態度」が0.1ポイント上回った。

【内容ごとの状況】

<○…「全国平均」を上回った問題>

<●…「全国平均」を下回った問題>

【聞くこと】

- 日常的な話題について聞き、要点を捉えている。
- 絵を適切に表している英文を聞き、その内容を理解している。
（動物の数と場所）
- 絵を適切に表している英文を聞き、その内容を理解している。（人の様子）
- 絵を適切に表している英文を聞き、その内容を理解している。
（していることと接続詞）
- 対話の内容を聞き、その意味を理解して適切に応答している。
（何をしたかとたずねられて）
- 対話の内容を聞き、その意味を理解して適切に応答している。
（いつパソコンを使えるかとたずねられて）

【読むこと】

- 対話文の情報を正しく読み、その内容を理解している。
- 英文を読み、必要な情報を把握して適切な部分を選んでいる。
- 対話を読み、対話の流れとポスターから必要な情報を把握して人物の適切な発言を判断している。
- 対話文を読み、基本的な語形・語法を理解している。
（現在進行形の疑問文）
- 対話文を読み、基本的な語形・語法を理解している。（SVC）
- 対話文を読み、基本的な語形・語法を理解している。（疑問詞 Whose）

【書くこと】

- 基本的な文の語順を理解して正確に書いている。（be going toの疑問文）
- 2年生の思い出について、まとめた内容で説明する文を正確に書いている。
【自分が挙げた2年生の思い出について説明する文を付け加えて書かれている。】

【今後の対応について】

◎「聞くこと」の力を育成するための言語統合的な活動の設定

新学習指導要領においては、聞いたこと、読んだことをもとに、話したり、書いたりするような言語統合的な活動が重視されている。普段の授業において、「聞くこと」を通して得た情報を活用し、話したり書いたりする活動を設定する必要がある。そのためには、2人のやり取りを聞いて、どのような誕生日プレゼントを贈るべきかについて、仲間とやり取りをするといったように、聞く目的を明確にした活動を設定する必要がある。

◎ 目的、場面及び状況の設定

「書くこと」の領域の『3文以上の英作文』という問題において、【第1文に、2年生の思い出を伝える文が書かれている】条件のみ、全国の正答率を上回った。残りの正答条件の【自分が挙げた2年生の思い出について説明する文を付け加えて書かれている。】と【テーマに沿って3文以上で書かれている。】については、全国の正答率を下回った。授業中や宿題を出す中で、【書く活動】を継続的に取り入れながら、目的、場面及び状況を判断して書く機会を意図的に設定する。